

別紙

三菱重工業株式会社 三原製作所 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱重工業株式会社 三原製作所

(2) 事業所の所在地

広島県 三原市糸崎南一丁目1番1号

(3) 業種

印刷, 製本, 紙工機械製造業 (2 6 4 4)

2 計画の期間

H23~H26年(4年計画)

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成19～22年度平均	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成26年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成25年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	24,949.1	23,723.9 5.0	15,706.8 37.0	14,176.06 43.0			
非エネルギー起源CO ₂							
メタン	1.4	1.3 5.0	0.6 57.0	0.35 75.0			
一酸化二窒素	2.9	2.8 5.0	3.19 -10	2.767 5.0			
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計	24,953.3	23,728.0 5.0	15,710.6 37.0	14,179 43.0			
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価	印刷関係の操業低下による電力量削減の影響が大きい。節電対策についても、空調設備及び変圧器の更新を計画的に実施中。省エネパトロール・節電放送等、活動の効果も見られる。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：付加価値生産高【億円】

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成22年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量							
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	48.64		39.04 80.3%	32.87 84.2%			
実績に対する自己評価	主に紙工、新聞製品の売り上げが増加し、付加価値生産高が増加。それに対し、印刷(枚葉)関係の操業低下による電力費の減少し、それらの影響により原単位は減少になった。						

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量（年度H19年～22年の平均を基準：H23年2%、H24～H26年 各1%削減） H24年度23,463[千KWh] 前年度比90.00% （糸崎・古浜工場全般）	① 省エネパトロール・節電放送の実施 冷暖房室温管理徹底 等 夏場28℃、冬場20℃管理 ② 省エネ型空調設備の更新 H24年6月 設計西館(1～6F)更新:330MWh 削減 ③ 高効率変圧器の導入 3φ3W 1000KVA、500VA 各2台更新
2	水道使用量の削減	2.4千ton/年以内 （三社合計） H24年実績 2.45千ton （前年度 98%）	① 日常の取り組みとして節水及び漏水の確認（チェックシート） ② 上水・工水の月別使用量の管理 ③ 漏水対策：老朽配管の更新 ④ 処理水の再利用を検討
3	廃棄物排出量の削減	2013年の目標値 2,400ton/年以内（三社合計） H24年実績 2,459ton/年 （前年度27.2%減少）	① 廃棄物の中長期削減目標及び計画書を作成して取り組む ② 2011年4月より埋立・焼却を1%以内でゼロエミ達成とする
4	リサイクル率の向上	2007年4月に”ゼロエミッション”達成（焼却・埋立は全廃棄物の1%以内に目標を変更する。 紙：96%以上（原料化） （H24年：322 ton 達成） 廃プラ：100%（燃料化） （H24年：114ton 達成） 廃油：100%（燃料化） （H24年：1,575ton 達成） ⑤ 汚泥：100%（原料化） （H24年：62ton 達成）	① 汚泥脱水乾燥設備の導入により汚泥焼却からリサイクルに転換。 ② 分別徹底により焼却ごみの削減 ③ 発泡スチロールの減容設備による削減 ④ 溶性切削水処理設備の導入による削減 ⑤ 水乾燥設備導入により減量化実施

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み